

病院統合再編

第1回評価委員会が開催されました

●お問い合わせ／市企画調整課企画調整係 ☎26-5704

来年4月1日から日本海総合病院（現県立日本海病院）と日本海総合病院酒田医療センター（現酒田市立酒田病院）の2つの病院を運営する地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の各事業年度の業務実績に関する評価や中期目標の作成・変更の際に意見等を提出する「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会」が、12月6日に県庁で開催されました。

地方独立行政法人は、法人の自律性、効率性が強化される一方、業務の公共性・透明性を確保するため、評価制度が法律で定められています。



◎地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 評価委員会委員

五十音順・敬称略

氏名	現役職名
嘉山孝正	山形大学医学部長
齋藤緑	NPO法人あらた代表理事
佐藤正一	日本公認会計士協会山形県会 会長
里見進	東北大学副学長・東北大学病院長
本間清和	山形県医師会（酒田地区医師会長）
矢島虎雄	酒田商工会議所（東北エプソン株式会社 取締役社長）

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会は、市と県が共同で設置したもので、委員6人（左表）が就任しました。委員の任期は2年間で、法人の業務実績について客観的かつ中立公平に評価を行い、必要に応じて改善勧告を行うなど、地方独立行政法人の目標・評価制度の根幹となる役割を果たすこととなります。

第1回評価委員会では、正・副委員長の互選が行われ、委員長に嘉山孝正氏、副委員長に里見進氏が選任されました。

その後、設立団体である県と市が定める中期目標の概要について協議が行われ、委員からは、「新病院の診療体制については住民の不安解消のためにも広報体制の強化が必要」「周産期医療などは、酒田地域だけでなく、庄内地域全体を考慮した医療連携を図るべき」「予防医療も含め、医療の全体像を示した上で、法人がどの範囲を担うのかを図式的に明示してはどうか」「新潟、秋田を含む広域的な医療連携を将来的に構想してはどうか」「往診をするかかりつけ医がまだまだ少ない。病院と診療所の連携、訪問看護・介護なども含めた福祉の連携を強化すべき」などの意見が出されました。

第2回評価委員会は1月中旬に開催予定となっています。

※妊娠後期から新生児早期までの時期に、母胎や胎児、新生児を総合的に管理して母子の健康を守る医療

第2回法人設立準備会開催

12月4日、第2回法人設立準備会が日本海病院で開催されました。会議では、①平成20年度～22年度

の移行期と施設整備が完成する平成23年度以降の両病院の医療機能について②移行プロジェクトの取り組み状況について③施設整備の基本設計についての協議が行われました。協議内容と検討状況については、本紙次号でお知らせします。

また、出前講座等で市民の皆さんから要望が多かった、日本海総合病院と酒田医療センターの間を患者さんが他科受診等で移動するためのシャトル車両（10人乗り、車いす患者用付）の購入も決定し、4月から運行することになりました。

